

## 河田新一郎(日本建築家協会 登録建築家) プロフィール

○1940 年 東京世田谷に生まれる

○1959 年 早稲田大学高等学院卒業

○1963 年 早稲田大学建築学科卒業

1962 年 卒業論文「海上都市の構造的研究」(指導 松井源吾先生 菊竹清訓先生)

当時菊竹清訓先生は数々の夢に見る海上都市のパースを描かれており、その計画を実現するために構造的な視点で海に浮かべるプラットホーム(東京湾)の考察を行った。

1963 年 卒業計画 MARINE CITY

東京湾で検証しコンクリートのプラットホームに鉄骨造りのフレーム(鉄橋)による住居棟をメタボリズムの思想により計画を行った。

1966 年 修士論文(指導 武基雄先生)

バブル時代に超高層建築による再開発の手法により四谷駅を中心とした市街地開発計画を行った。

○四半世紀 大組織設計事務所時代

①1966 年～1979 年 日建設計時代

世界貿易センタービル(40階) 新東京国際空港旅客ターミナルビル等の大プロジェクトに従事

②1980 年～1992 年 東急設計時代

東急グループ等の田園都市計画に基づいたダウンタウンの集合住宅の設計に従事

○四半世紀、1992 年～現在 河田建築設計事務所

- ・東急不動産他の集合住宅企画物件の設計

- ・集合住宅の維持管理の研究

東急ドエル宮崎台テラス長期修繕計画の設計監理

日本建築家協会編 マンション百科共同執筆

- ・住宅産業に携わるトヨタホームの設計アドバイザーとして住宅計画の数多くのプロジェクトを研究、提案

- ・著作 「住居学概論」(お茶の水女子大学 共著)

- ・一般建築の設計監理協力

警視庁万世橋署庁舎改装工事

さいたま広域合同庁舎

- ・2013 年～現在 海上都市の研究

スマートアイランド研究会で海上都市の研究に従事(卒論以来 50 年の再度の海上都市の研究)

- ・日本建築学会海洋建築委員会 設計小委員会委嘱
- ・日本建築学会及び日本海洋工学会で論文発表
- ・海上都市への三つの提案
  - 防災設備を備えた東京湾での海上都市の研究
  - 海上都市の国際コンペ（シーステディング・アメリカ）入選
  - 洋上都市 10000 人のコミュニティの提案等のマスタープラン

○半世紀余に亘る建築設計のまとめ (2017 年)

学業から組織事務所での仕事 [1]

組織事務所での仕事 [2]

河田建築設計事務所での仕事

研究及び論文活動その他

以上 4 編からなる冊子を編集

○その他 彩寿会（早大建築科 OB 絵画同好会）会員・木工作制作等

作品集「風景素描」Ⅰ、Ⅱ 木工作写真集

エッセイ（マイカーライフ）

個展 第 1 回(2009 年) 第 2 回 (2013 年)

第 3 回 (2016 年「海上都市への夢」)

講演会「防災を主目的としたスマートアイランド構想」(2017 年)